

社会資本総合整備計画（地域住宅支援）第2回変更

平成26年3月25日

計画の名称	1 牧之原市における住宅・建築物及び市街地の安全性の向上										
計画の期間	平成22年度～平成27年度（6年間）					交付対象	牧之原市				
計画の目標	『住宅・建築物の耐震化や住宅市街地の防災対策を行うことにより、安心できる住まい・まちづくりを実現する。』										
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牧之原市における住宅の耐震化率の向上</li> <li>・牧之原市における狭あい道路拡幅整備をした件数の向上</li> </ul>										
定量的指標の定義及び算定式	住宅・土地統計調査、固定資産税課税台帳等の統計データや事業実施状況をもとに算出する。 (住宅の耐震化率) = (耐震性が確保された住宅数) / (全住宅数) (%) 事業実施計画をもとに件数を加算する。										定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値 (H22当初) (H20末) 76.2% 中間目標値 (H25末) 12件 最終目標値 (H27末) 90% (H25末) 12件 ※中間目標は任意
全体事業費	合計 (A+B+C)	79百万円	A	67百万円	B	0百万円	C	12百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	15.2%	

交付対象事業

A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	事業実施期間(年度)						全体事業費(百万円)	備考
								H22	H23	H24	H25	H26	H27		
1-A1-1	住宅	一般	牧之原市	直/間	市/個人	住宅・建築物安全ストック形成事業	耐震診断及び改修等, 吹付けアスベストの調査・市内全域							49	
1-A1-2	住宅	一般	牧之原市	直/間	市/個人	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路の拡幅等・市内全域							18	
合計												67			

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)						全体事業費(百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26	H27		
合計												0					

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)						全体事業費(百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26	H27		
1-C-1	住宅	一般	牧之原市	間接	個人	-	ブロック塀の安全対策事業	ブロック塀除去、改善	牧之原市							3	
1-C-2	住宅	一般	牧之原市	間接	個人	-	生垣づくり補助金	生垣づくり補助	牧之原市							1	
1-C-3	住宅	一般	牧之原市	間接	個人	-	木造住宅耐震補強助成事業	木造住宅の耐震補強	牧之原市							8	
合計												12					

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
1-C-1	地震発生時に倒壊又は転倒の危険性のあるブロック塀等の安全対策を実施する。											
1-C-2	ブロック塀撤去後に安全で環境にやさしい生垣づくりを実施する。											
1-C-3	旧基準で建てられた木造住宅の耐震補強を実施する。											



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 牧之原市における住宅・建築物及び市街地の安全性の向上

事業主体名: 牧之原市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①計画の目標が基本方針と適合している。	○
②地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
③関連する各種計画(耐震改修促進計画等)との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
②指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
③指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
④十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
III. 計画の実現可能性	
①事業熟度が十分である。	○
②民間団体等との多様な連携が図られている。	○